

数 学 I 学 習 指 導 案

学 級	1 年 1 ・ 2 組 A 講座	教 室	2 4 2 教室	指 導 者		
単 元	第 2 章 2 次 関 数		教科書	改訂版 数学 I (数研出版)		
指 導 目 標	1 2 次方程式 $f(x)=0$ の解と、2 次関数 $y=f(x)$ のグラフの対応関係を明らかにする。 2 2 次関数のグラフと x 軸の共有点の個数が b^2-4ac の符号により調べられることを理解させる。 3 2 次不等式 $f(x) > 0, f(x) < 0$ の解と 2 次関数 $y=f(x)$ のグラフとの対応関係を明らかにする。		指 導 計 画	第 2 節 2 次不等式 5 2 次関数のグラフと x 軸の位置関係 2 時間 6 2 次不等式 6 時間 (本時はその 1 時間目) 7 演習問題 3 時間		
本時の主題	2 次不等式					
前時の課題	教科書 練習 28, 29 を解いておく。					
目 標	1 2 次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフと x 軸の位置関係を考察することにより、2 次不等式 $ax^2+bx+c > 0 (< 0)$ の解法を理解させる。 2 2 次不等式の解法を理解させ、その解を数直線上に図示できるようにする。					
指 導 過 程	指 導 内 容	時 間	指 導 上 の 留 意 点	資 料 ・ 教 具 ・ 評 価 の 観 点 等		
	導 入	1 前時の課題を解答する。 2 本時の目標を確認する。	5	・ 既習事項の内容について復習し、学習意欲を喚起する。	・ 復習の内容から本時の内容につなげる。 〈関心・意欲・態度〉	
	展 開	1 例題 16 「2 次不等式 $x^2-2x-3 > 0$ $x^2-2x-3 < 0$ の解」を解説する。 2 例題 10 「次の 2 次不等式を解け。 (1) $3x^2+4x-4 < 0$ (2) $x^2+2x-2 \geq 0$ 」を解説する。	1 0 5	・ 1 次不等式の解法と同様にグラフ上の点の y 座標の符号を調べればよいことを理解させる。 ・ まず、2 次方程式を解いて x 軸との共有点を求めることを理解させる。 ・ x^2 の係数が負の場合、不等号の向きに注意して、 x^2 の係数を正にして解くことについて言及する。	・ 既に学んだ方法で対応できる。〈表現・処理〉 ・ チェーン ・ 2 次方程式との関連が理解できている。 〈数学的な見方や考え方〉 ・ 解法が理解できている。 〈知識・理解〉	
	過 渡	3 練習 32, 33 の演習	1 0	・ 2 次方程式の 2 つの解の大小に注目させて解かせる。	・ 問題に意欲的に取り組んでいる。 〈関心・意欲・態度〉	
	開 閉	4 例題 18 「2 次不等式 $x^2-2x+1 > 0$ $x^2-2x+1 < 0$ の解」を解説する。	5	・ $a > 0, D = 0$ の場合の考え方や解法の手順も、グラフの概形から考えることに言及する。	・ 解の表現を理解できる 〈表現・処理〉	
	整 理	5 問題演習 練習 34 を解かせる。	1 0	・ 2 次不等式の解は、判別式 D の符号によって分類されることを理解させる。	・ 2 次関数のグラフと 2 次不等式の関係が理解できている。〈関心・意欲・態度〉	
	次 時 の 課 題	教科書練習 32, 33, 問題集「クリアー数学 I + A」183, 184, 185				
備 考	普通科 生徒数 40 名					